

経済産業省受託事業「導電性接着剤に関する標準化」事業 導電性接着剤(iCAS)フォーラム in 大阪

■主 催：導電性接着剤実装技術標準化委員会

■担当部署：コンシューマ・プロダクツ部

■参加者数：51名

概 要

本事業は、平成17年度からNEDO「高温鉛はんだ代替技術開発」プロジェクトに始まり、高温鉛はんだ代替として低温実装高温耐熱性のある「導電性接着剤」を一つのターゲットとして開発を進める事業として、平成20年よりNEDO事業として開始し、実装信頼性の標準的評価方法の開発を進めてきたものです。

平成23年度からは、JEITA・RCJの両団体により、経済産業省の受託事業「導電性接着剤に関する標準化」事業として推進しております。導電性接着剤実装技術標準化委員会を設置し、必要に応じた実証実験によるデータ収集・分析、また、国際提案する標準化原案作成を目指して調査事業を実施しております。

熱特性を含めた材料特性評価、耐久性試験方法の基本技術を獲得し、これらの成果をもとに、わが国から積極的な国際規格(ISO)提案を進めており、本年に入り、検討してまいりましたISO規格9件の内8件をDIS(国際規格案)手続きを終え、最後の1件もISO事務局へDISの申請手続きの提出ができました。

標準化の推進にあたっては、情報を発信することも必須であり、研究成果の普及と情報発信の場として、今まで年度報告会として東京で4回開催してまいりま



した。

今回は、国際規格の手続きが、DIS(国際規格案)段階まで達したこともあり、関西圏で初めて、情報発信の場を持つことといたしました。

平成23年度までの各WGにおける研究成果に、今後の「導電性接着剤」の新たな市場形成に対応する新技術に関しての情報も盛り込み情報展開を行いました。



プログラム

1. 全体概要報告

平成23年度「導電性接着剤に関する標準化」事業と新技術への展開

iCAS委員会委員長 大阪大学 教授 菅沼克昭 氏

2. 標準化検討WG平成23年度活動報告

iCAS WG1（実装プロセス試験）

○導電性接着剤による実装プロセス評価法とその使いこなし エスペック(株) 竹内 誠 氏

iCAS WG2（材料特性試験）

○界面抵抗測定法の活用事例ー耐電流、表面酸化、高周波ー (株)デンソー 新帯 亮 氏

iCAS WG3（熱伝導性試験）

○SCHF-CT法を用いた導電性接着剤伝熱特性評価 三菱電機(株) 柳浦 聡 氏

iCAS WG4（環境試験方法及び条件の検討）

○部品接合湿度加速試験の検討 (財)日本電子部品信頼性センター 佐々木喜七 氏

iCAS WG5（規格/標準化）

○導電性接着剤実装技術の国際標準化規格提案について 接着剤接着評価技術研究会(NPO) 岩田立男 氏

3. 大学成果報告 基礎研究・基礎メカニズムの解析

○導電性接着剤実装の衝撃特性評価 大阪大学 産業科学研究所 教授 菅沼克昭 氏

○導電性接着剤の配線および接続部的高速信号測定・評価技術 明星大学 名誉教授 大塚寛治 氏

4. 全体質疑